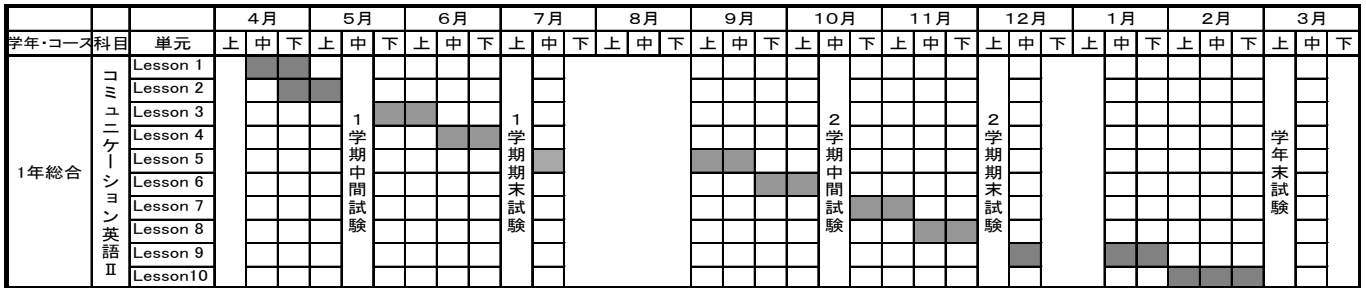
授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ				２０２１年度 英語科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	３	
授業内容	・辞書の使用法 ・発音指導及びテキストの音読 ・単語・熟語の習得 ・教科書の内容理解 ・語彙力を増やすために週１度の単語テストを実施 ・ALT によるリスニング、スピーキング（会話）の指導 ・１単位は、ＡＬＴによる授業（定期試験にはリスニングが含まれる）				
到達目標	（１学期） ・わからない単語は辞書を引いて調べて読むことができる。 ・教科書の１文をある程度理解できる。 ・１文の英文を聞くことができる。 ・簡単な指示を聞いて理解することができる。 ・ゆっくり教科書の本文を聞いて５０％程度リピートすることができる。 （２学期） ・文のつながりを考えながら教科書の１つの段落をある程度理解できる。 ・教科書の本文を普通の速さで聞いて５０％程度リピートすることができる。 ・日常の身近なテーマについて３０％程度聞き取ることができる。 （３学期） ・段落ごとのつながりを考えながら教科書の１つのパートをある程度理解できる。 ・簡単に書かれた地図や案内などを見て、イラストや写真も参考にしながらある程度その内容を理解することができる。 ・教科書の本文を普通の速さで聞いて７０％程度リピートすることができる。 ・日常の身近なテーマについて５０％程度聞き取ることができる。				
評価方法	・授業への取り組み（参加・関心・意欲・態度など） ・教科書の本文の音読及び内容理解 ・提出物・小テスト ・定期考査（記述式 80%＋リスニング 20%） ・上記の観点の評価 50%＋定期考査 50%で評価				
使用教材	・Revised BIG DIPPER English Communication Ⅰ ・Revised BIG DIPPER English Communication Ⅰ ワークブック ・Listening Pilot Level 1				
その他	・システム英単語 Basic ・エースクラウン英和辞典 ・総合英語　FACTBOOK				

●授業進度表



科目	英語表現Ⅰ				２０２１年度 英語科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	・辞書の使用法 ・中学での既習事項の復習 ・文法事項の説明及び練習問題 ・教科書の内容理解 ・授業を理解しやすくする補助プリントでの学習				
到達目標	（１学期） ・単語や文にミスはあっても、英文を書くことができる。 ・わからない単語は辞書を引いて調べることができる。 ・自分についての基礎的情報を文で書くことができる。 ・発音やアクセントの間違いを気にせず英語を話すことができる。 ・挨拶や自己紹介など、自分のことについて簡単な英語を話すことができる。 （２学期） ・自分や身の回りのことについて簡単な５～６文程度の英文で書くことができる。 ・物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。 ・自分の日常生活や、ものの好き嫌いについて、単語を繋げながらでも話すことができる。 ・クラスメートに簡単な質問を沈黙せずに対応できる。 （３学期） ・自分や身の回りのことについて１０文程度の英語で書くことができる。 ・簡単な英語を使って、自分についてクラスで発表できる。 ・クラスメートに簡単な質問とその応答に時間をおいても答えることができる。				
評価方法	・授業への取り組み（参加・関心・意欲・態度など） ・教科書の文法の理解度 ・提出物・単語小テスト ・定期考査 ・上記の観点の評価 50%＋定期考査 50%で評価				
使用教材	・Revised BIG DIPPER English Expression Ⅰ ・Revised BIG DIPPER English Expression Ⅰ ワークブック				
その他	・システム英単語 Basic ・エースクラウン英和辞典 ・総合英語　FACTBOOK				

●授業進度表

					4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	教科書	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年総合	英表Ⅰ	Big Dipper Expression Ⅰ	L1	英文の基本構造（主語＋動詞＋…）／itの用法	■	■																																		
			L2	適切な動詞を用いた表現／there is 構文			■																																	
			L3	名詞（可算・不可算）／冠詞				■																																
			L4	肯定文・否定文／疑問文						■	■																													
			L5	現在・現在進行形／過去・過去進行形								■																												
			L6	未来表現									■		■																									
			L7	現在完了形／過去完了形																■	■																			
			L8	助動詞①																		■	■																	
			L9	助動詞②																				■																
			L10	文　型																					■															
			L11	受け身																						■														
			L12	不定詞①																							■													
			L13	不定詞②																							■		■											
			L14	動名詞																											■									
			L15	分詞																												■								
			L16	比較①																													■							
			L17	比較②																													■							
			L18	関係詞①																														■						
			L19	関係詞②																														■						
			L20	仮定法																															■					
			L21	接続詞																																			■	

授業科目	芸術　音楽Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	１学年	総合（選択）	単位数	２	
授業内容	主に音楽理論の学習とバンド編成による楽曲の演奏体験を通して、音楽的感性を深め、演奏の基本手法を実習すると共に、主体的かつ創造的な芸術的表現を行う。 1 学期　音楽理論（楽典）と実習　視唱　基本奏法の練習 2 学期　基本奏法の練習と合奏・声楽パートの練習及び弾き歌い。発展的な音楽理論の学習 3 学期　発展的合奏表現 ただし、日本音楽史・西洋音楽史については年間を通して適宜行う。				
到達目標	○基本的楽典の理解。調性音楽の原理理解 ○メンバーの志向等を共有・共感しながら演奏課題曲の選定と担当楽器の設定を行う ○各楽器の基本奏法の理解と演奏。コード・ネームに関連した楽典の理解と連携。 ○各楽器に関連した機材等の効果および操作理解 ○個人練習・合奏練習のメニュー理解と稽古実施 ○声楽的観点による歌唱表現の工夫　○弾き歌いを中心にした楽曲の解釈と理解 ○音楽における様々な様式と歴史の理解および応用				
評価方法	［単位修得要件］　出席日数、授業参加練習態度、持ち物（楽譜など）、順番で行うレッスン等の演奏実技評価、学期ごとの学科（筆記）試験。これらを「知識・技能」40%「主体性」30%「表現力・判断力・思考力」30%の観点別で評価する。				
使用教材	教育芸術社　ＭＯＵＳＡ　Ⅰ　及び　グループ毎の課題曲楽譜　　資料プリント等				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］　小・中学校で培われた音楽的演奏能力および音楽的知識一般。ただし楽器演奏の経験および能力は特に問わない。 ［注意事項］　この授業は主体的な音楽表現を試みる事を目的としている。そのため音楽理論の専門的な知識の理解や、初めて演奏する事になる楽器の演奏などについて、指定された課題を丁寧に練習していくことが求められる。これらの総体として音楽的表現の可能性を実体験し追求して欲しい。				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年総合	音楽	楽典	音部記号 音名 音符と休符 小節と拍子とリズム 楽語					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			音階と調																																				
		機能和声の論理	音階から和音（コードネーム含む）																																				
			基本カデンツ																																				
			準固有和音																																				
		ソルフェージュ	視唱																																				
		器楽演奏と弾き歌い	各楽器の基本奏法																																				
			発展的な奏法																																				
			合奏時の機材使用法と留意点																																				
			合奏練習																																				
			弾き歌い																																				
		表現とパフォーマンス	曲の表現プラン																																				
			舞台芸術としての観点とその理解																																				
		日本音楽史	古墳時代 奈良時代 平安時代																																				
			鎌倉時代 安土桃山時代 江戸時代																																				
			明治時代 昭和初期																																				
			現代																																				
			郷土の民謡と芸能																																				

授業科目	化学基礎				２０２１年度 理科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	教科書の基本的内容を的確に理解し，日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高める。化学を学ぶ上で身につけるべき基本的素養のため，知見を広げ，既有知識と結び付けながら自分なりの意見を持ち，他者に伝えられるよう，「聞くこと」，「読むこと」，「話すこと」（やり取り・発表），「書くこと」の５領域を有機的に関連付け，総合的に学習を行う。 ①　教科書を用いた内容理解，情報収集能力の向上 ②　教科書の探究活動を使った課題解決能力，創造力，表現力の育成 ③　その他にも随時，副教材や資料等を使用しながら，化学を学ぶ上で身につけるべき基本的素養を涵養する				
到達目標	化学の基本的な概念や原理・法則の理解から科学的な見方や考え方の資質・能力を向上させ，自律した学修者を目指す。 【第１編　物質の構成】 原子の構造及び電子配置と周期律の関係，物質の性質については化学結合との関係を理解し、物質の種類や形，性質などの科学的な見方ができる。 【第２編　物質の変化】 物質量を学習した後、化学反応の量的関係，酸と塩基の反応から化学反応に関する基本的な概念や法則を理解し，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できる。				
評価方法	知識・技能（30）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（35）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（35）…授業内活動、振り返りシート等の提出物 から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書：新編化学基礎【東京書籍】 問題集：ニューサポート化学基礎【東京書籍】				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年総合	化学基礎	物質の構成	物質の探究					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			原子の構造と周期表																																				
			化学結合																																				
		物質の変化	物質量と化学反応式																																				
			酸と塩基																																				
			酸化還元反応																																				

授業科目	国語総合（現代文）				２０２１年度 国語科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	・　幅広いジャンルの優れた文章や作品を読む機会を多く持つ。 ・　様々なテーマや内容に興味関心を持ち、自己の考えを深める。 ・　評論の文章の構成や展開に注意し、作品の論旨を読解する。 ・　小説に描かれた場面や情景を捉え、登場人物の心情や関係性を読み取る。 ・　比喩など修辞的表現の特徴を掴み、その効果を読み味わう。 ・　詩歌の形式やリズム・表現方法に注意して、描かれた世界を読み味わう。 ・　漢字学習を通して語彙力の向上に努める。 ・　ＩＣＴを用いて、情景を映像や画像を通して視覚的に味わう。				
到達目標	・　論理的な文章の読解能力を育成する。 ・　文学的文章の読解能力を育成する。 ・　自分の考えや思いを表現する力を育成する。 ・　基礎的な漢字の読み書きを重点とし、語彙力を育成する。 ・　読むことにより、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題・提出物・ノート・授業に対する態度などを通し、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性の観点から総合的に評価する。				
使用教材	教科書　精選国語総合　（東京書籍） 副教材　図説国語（東京書籍） 漢検　漢字学習　漢字トレーニング改訂版　５/４/３級 （公益財団法人　日本漢字能力検定協会） 論理エンジン　0S１　（水王舎）				
その他	・予習として、教科書の本文を読み、難読・難意語句の読み・意味調べを必ず行いましょう。 ・予習・復習のしやすいノートを工夫して作りましょう。 ・「漢字トレーニング」を活用し、基本的な語句を習得するとともに、漢字検定における自己の目標級を設定して、その取得に努めましょう。				

●授業進度表

学年･コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年総合	国語総合 現代文	随想	届く言葉		■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		論理エンジン	ステップ1から3				■																																
		小説	羅生門							■	■	■																											
		論理エンジン	ステップ4から7										■	■																									
		評論	水の東西																■	■																			
		詩歌	汚れちまった悲しみに																		■																		
		詩歌	十五の心・白牡丹																			■																	
		論理エンジン	ステップ8から11																				■																
			漢字学習																						■	■													
		評論	真の自立とは																								■	■											
		小説	富岳百景																												■	■	■						
		論理エンジン	ステップ12から15																															■	■		■		

授業科目	国語総合（古典編）				２０２１年度 国語科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	◎基礎知識の習得、読解力の養成。 ＜古文＞ ・音読を行い、文章のリズムをつかむ。 ・古文の基礎知識（単語・文法など）を習得する。 ・作品の内容を的確に捉える。 ・古典の表現の面白さや工夫を理解する。 ・登場人物の心情をつかむ。 ・逐語訳を主として行い、基礎読解力を身につける。 ・古文に関する親しみや興味・関心を高める。 ＜漢文＞ ・音読を行い、漢文に慣れる。 ・漢文の基礎知識（句法など）を習得すると同時に古文との違いも認識する。 ・作品の内容を的確に捉える。 ・古典の表現の面白さや工夫を理解する。 ・登場人物の心情をつかむ。 ・句法に忠実な書き下しと口語訳を行い、基礎読解力を身につける。 ・漢文に関する親しみや興味・関心を高める。				
到達目標	・古文漢文の基礎知識の習得。 ・文法や句法に則った口語訳。				
評価方法	・定期試験・・・内容の理解・文法・文章理解 ・定期考査・課題・ノートの提出や内容、出欠状況などを総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教科書　・「精選国語総合」（東京書籍） 副教材　・「完全傍訳　やさしくくわしい　古典文法　三訂版」（尚文出版） ・「記入してわかる　やさしくくわしい古典文法ノート　基訂版」（尚文出版） ・「必携　新明説漢文」（尚文出版）				
その他	・復習しやすいノートを工夫して作りましょう。				

●授業進度表

学年コース	科目	区分	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
					上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年総合	国語総合 古典	古文	説話	今昔物語集					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験										学年末試験		
			説話	宇治拾遺物語																																				
			随筆	徒然草																																				
			歌物語	伊勢物語																																				
			文法	用言・助動詞																																				
		漢文	訓読	訓読・格言																																				
				故事成語																																				
				唐詩																																				
			句法	返読・再読・否定																																				

授業科目	芸術　書道Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	１学年	総合（選択）	単位数	２	
授業内容	・　書写と書道の違いを理解する。姿勢・執筆法、用具・用材を理解する。 ・　書の歴史を知る。 ・　中国の歴史的作品の鑑賞・理論を通し、臨書（実技）をする。 　・　楷書の学習 　・　行書の学習 ・　平仮名、片仮名の成り立ちを理解し、平安時代の仮名の基礎を学ぶ。 　・　いろは歌・連綿 ・　漢字仮名交じりの書を通して、伝達から表現を目的とした書作品を学ぶ。 ・　日常生活における実用的な書を学ぶ。				
授業計画	・　楷書の学習（中国古典：九成宮禮泉銘・孔子廟堂碑・雁塔聖教序・顔氏家廟碑） ・　行書の学習（中国古典：蘭亭序、日本古典：風信帖） ・　仮名の学習（平仮名、片仮名の成り立ち・いろは歌・連綿） ・　生活の中の書（実用書道） ・　硬筆の学習（平仮名、片仮名の正しい書き方） （その他、時間や状況に応じて変更有り）				
到達目標	・　書写と書道の違いを理解する。 ・　書く姿勢、筆の持ち方、用具・用材についての知識を理解する。 ・　漢字の変遷と様々な書体の成立と基本用筆について理解する。 ・　作品を鑑賞し、臨書を通し、字形や運筆の特徴を表現する。 　（背勢と向勢・蔵鋒と露鋒・方勢と円勢の違い等） ・　行書の成立と基本用筆について理解し、楷書との違いを理解し、表現する。 ・　平仮名、片仮名の成り立ちを理解する。 ・　仮名の成立と基本用筆・連綿の流動美を理解し、表現する。 ・　生活で必要な実用書道の基礎・基本的な事項を理解し、文字の原則・原理に基づいて書くことができる。				
評価方法	毎時間の作品提出、習熟度、出席日数、授業態度、持ち物（教科書と道具）、学期末の学科試験を加味してこれらを「知識・技能」40%「主体性」30%「表現力・判断力・思考力」30%の観点別で評価を決定する。				
使用教材	光村図書　書Ⅰ 資料・配布プリント等				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 全コース	書道		書写から書道へ					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		楷書	九成宮禮泉銘																																				
			孔子廟堂碑																																				
			雁塔聖教序																																				
			顔氏家廟碑																																				
		行書	蘭亭序																																				
			風信帖																																				
		制作	伝達から表現へ																																				
		仮名	いろは歌・連綿																																				
		調和体	生活の中の書																																				
		硬筆	平仮名・片仮名																																				

授業科目	体育				２０２１年度 体育科シラバス
学年・コース	１学年	総合(女子)	単位数	２	
授業内容	・集団行動 クラスや講座の集団の一員であることを意識して行動させ、体育の授業に取り組む姿勢をつくる。集団の中で秩序ある行動を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・バレーボール、バスケットボール 集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・持久走（特色種目） 体力とともに最後まで走り抜く精神力と忍耐を養い、今後の学習活動に活かす。マラソン大会の安全対策とマラソン事前学習の習得とする。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	知識・技能　　思考・判断・表現　　主体的に取り組む態度				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年女子	体育	集団行動	姿勢、方向転換	■	■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験										学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散	■	■	■																																	
		体つくり	体ほぐしの運動	■	■	■	■																																
			体力を高める運動	■	■	■	■																																
		球技	基本的技能運動																		■	■	■	■	■	■	■										■		
			基本的技術運動																		■	■	■	■	■	■	■										■		
		陸上	基礎、基本的な運動						■	■	■	■	■						■	■	■																		
			合理的な運動						■	■	■	■	■						■	■	■																		
		持久走	体力向上の運動																												■	■	■	■	■				
			精神力や忍耐力メントレ																												■	■	■	■	■				
		体育理論	合理的な運動を学習する									■														■								■					
			練習方法や必要な体力									■														■								■					
			生涯スポーツの意味									■														■								■					

授業科目	数学Ⅰ				２０２１年度 数学科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	３	
授業内容	第１章　数と式 式についての用語の意味を理解する。また、整式を整理する中で、式についての見方を豊かにする。数と式の基本的な計算を学び、式の一部を文字のようにみなしたり、１つの文字について整理したりするなど、見通しをもって効率よく計算できる。数を実数まで拡張し、それぞれの数の意味を理解する。絶対値記号や根号を含む式の計算ができる。不等式の意味を理解し、１次不等式の解法を学び、解の意味について理解を深める。 第２章　集合と論理 図表示などを用いて集合についての基本的な事項を学ぶ。命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件などの用語の定義を学び、命題についての条件の否定とド・モルガンの法則を理解する。命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を身につける。 第３章　２次関数 関数の概念を基本的な用語と共に確認・理解する。中学校で学んだ２乗に比例する関数の性質をもとに順次、２次関数について理解を深める。２次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じた、関数の最大値・最小値を求められることができ、具体的な問題の解決に活用できる。２次方程式・２次不等式の解の意味を理解し、その解を求めることができる。また、２次関数のグラフを活用するよさを認識する。 第４章　図形と計量 三角比の正弦・余弦の意味を理解し、鈍角まで拡張する。三角形の辺と角の間の基本的な関係として、正弦定理・余弦定理を理解し、活用できる。また、様々な図形について、辺、角、面積、体積などの計量や面積比・体積比についても学ぶ。 第５章　データの分析 平均値、最頻値、中央値を求めることができるようにし、偏差、分散、標準偏差について理解し、標準偏差を求めることができるようにする。四分位数の定義を理解し、箱ひげ図をかくことができるようにする。散布図を利用して、相関関係を読み取ることができるようにし、相関係数が求められるようにする。				
到達目標	数と式、2 次関数、図形と計量およびデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価方法	定期考査、小テストなどで到達度を問う。課題やノートなどの提出物及び授業態度も考慮し総合的に評価する。				
使用教材	教科書：「新編　数学Ⅰ」（東京書籍） 副教材：「アシストセレクト　数学Ⅰ」（東京書籍）				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 総合	数学Ⅰ	数と式	式の計算		■	■	■	1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み						2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み						学年末試験			春休み		
			実数							■	■																												
			1次不等式									■	■																										
		集合と論証	集合											■																									
			命題と論証											■					■																					
		2次関数	2次関数とそのグラフ																	■	■	■	■	■															
			2次方程式と2次不等式																						■	■	■													
		図形と計量	鋭角の三角比																										■										
			三角比の拡張																										■			■	■						
			三角形への応用																														■	■					
		データの分析	データの整理と分析																															■	■				
			データの相関																																			■	

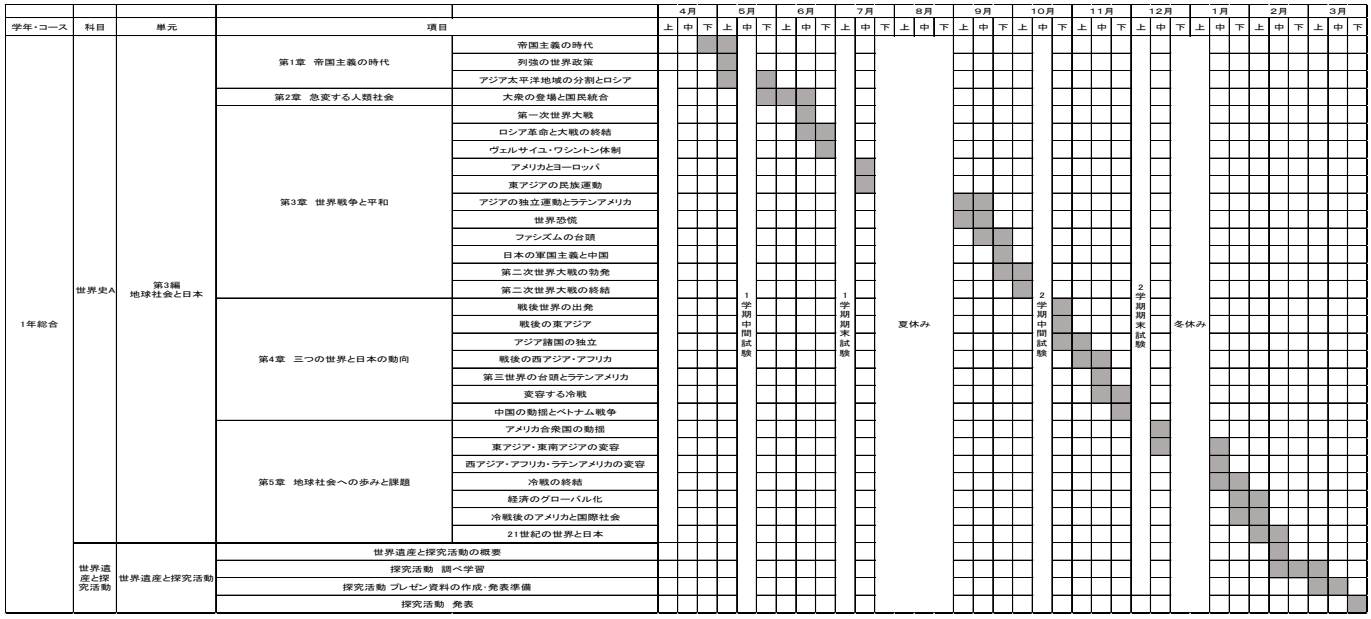
授業科目	数学Ａ				２０２１年度 数学科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	第１章　場合の数と確率 集合の意味や用語を理解し、部分集合などの集合間の関係を理解する。ド・モルガンの法則を理解し、それを用いて集合の要素の個数が求められるようにする。和の法則・積の法則を認識し、樹形図や表を有効に利用しながらその総数を求めることができる。順列の意味を理解し、その総数が求められるようにする。また、円順列や重複順列など、いろいろな順列の計算ができるようにする。組合わせの意味を、その総数を順列との関係によって求めることで理解を深める。組合せの考えを組分けや同じものを含む順列にも活用できるようにする。確率の意味について理解し、事象を、集合を用いて表すことができるようにし、各根元事象が同様に確からしい場合の確率の計算ができるようにする。余事象の考えを用いて確率を求めることができるようにする。具体的な例を通して独立な試行について理解し、その確率が求められるようにする。反復試行の確率、条件つき確率を理解し、具体的な場面に対して的確に活用できるようにする。 第２章　整数の性質 約数や倍数の基本的な用語の意味を理解し、倍数を見分けたり、素因数分解によって約数を求められるようにする。素因数分解を用いて最大公約数や最小公倍数を求められるようにする。整数の除法の性質を理解するとともに、ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて２つの整数の最大公約数を求められるようにする。２元１次不定方程式の解の意味を理解し、ユークリッドの互除法を活用し、解を求められるようにする。２進法や３進法などを用いて数を自由に表記する。２進法における加法・減法・乗法などの計算をできるようにする。 第３章　図形の性質 平行線と線分の比について理解する。線分の内分、外分について理解する。三角形の角の二等分線の性質について理解する。三角形の外心、内心、重心とその性質を理解する。チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、それを用いていろいろな辺の長さを求められるようにする。				
到達目標	場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価方法	定期考査、小テストなどで到達度を問う。課題やノートなどの提出物及び授業態度も考慮し総合的に評価する。				
使用教材	教科書：「新編　数学Ａ」（東京書籍） 副教材：「アシストセレクト　数学Ａ」（東京書籍）				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 総合	数学A	場合の数と確率	集合と場合の数																																				
			確率とその基本性質					1					1										2					2											
			いろいろな確率					学					学										学					学									学		
		整数の性質	約数と倍数					期					期			夏							期					期		冬						年		春
			ユークリッドの互除法と不定方程式					中					期			休							中					期		休						末		休
			整数の性質の活用					間					末			み							間					末		み						試		み
		図形の性質	三角形と比					試					試										試					試								験		
			円の性質					験					験										験					験										
			空間図形																																				

授業科目	世界史Ａ				２０２１年度 地歴公民科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	『世界史Ａ』（第一学習社） 第３編を中心に，近現代の世界の形成過程や関連する基礎知識を学習し，現在の世界の情勢や諸課題の背景を理解する。 第３編 第１章　帝国主義の時代　　第２章　急変する人類社会 第３章　戦争と平和　　第４章　三つの世界と日本の動向 第５章　地球社会への歩みと課題　第６章　持続可能な社会への展望 世界遺産と探究活動 世界遺産を使った探究活動を行い，SDGｓと関連させて地球規模で起きている諸問題に理解や関心を持ち，その諸問題の解決に向けて考察し意見を述べる事ができる。また，考察した事や意見などをプレゼン資料にまとめ，クラスの中で発表する事ができる。 ・世界遺産と探究活動の概要　・調べ学習　・プレゼン資料の作成　・発表				
到達目標	・各単元における重要語句を説明することができる。 ・戦争の悲惨さについて教科書や資料集を使って調べ，今後二度と戦争をしないために必要なことを考えることができる。 ・戦後の国際協調機関である国際連合の果たした役割について述べることができる。 ・地球規模の課題について国際社会がどのように対応したのかを調べ，現代社会でおきている諸課題について，自分の意見をまとめることができる。				
評価方法	「知識・技能」（40%），「思考・判断・表現」（30%）については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については，提出物，小テスト，プレゼン発表，レポート等をもとに評価をする。（30%）				
使用教材	教科書：『世界史Ａ』（第一学習社） 副教材：『アカデミア世界史』（浜島書店） 『世界史Ａ　ワークノート』（第一学習社）				

●授業進度表



授業科目	生物基礎				２０２１年度 理科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	第１部生物の特徴 生物の多様性と共通性の視点を身につけ，生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び，生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 第２部 遺伝子とその働き 生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。 第３部 生物の体内環境の維持 生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し，生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ，体内環境の維持と健康との関係について認識する。 第４部 生物の多様性と生態系 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。				
到達目標	・生物や生命現象に対する興味関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・大学入学共通テストレベルに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	知識・技能（30）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（35）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（35）…授業内活動、振り返りシート等の提出物 から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書　生物基礎　数研出版 副教材　リードライトノート生物基礎　数研出版 スクエア最新図説生物　第一学習社				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年総合	生物基礎	生物と遺伝子	生物の特徴					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			遺伝子とそのはたらき																																				
		生物の体内環境の維持	生物の体内環境																																				
		生物の多様性と分布	植生の多様性と分布																																				
			生態系とその保全																																				

授業科目	体育（体育実技１単位、柔道１単位）				２０２１年度 体育科シラバス
学年・コース	１学年	総合(男子)	単位数	２	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・ラグビー、バスケットボール 集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・持久走（特色種目） 体力とともに最後まで走り抜く精神力と忍耐を養い、今後の学習活動に活かす。マラソン大会の安全対策とマラソン事前学習の習得とする。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・柔道 柔道の基本技術を身につける。相手の動きに対応した攻防ができる。強い精神力と相手を尊重し思いやる心を身につける。ルールを守り、安全に試合ができるようにする ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	知識・技能　　思考・判断・表現　　主体的に取り組む態度				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年男子	体育	集団行動	姿勢、方向転換	■	■	■		1学期中間考査					1学期期末試験										2学期中間考査					2学期期末試験										学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散	■	■	■																																
		体カづくり	体ほぐしの運動	■	■	■	■																															
			体力を高める運動	■	■	■	■																															
		球技	基本的技能運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■									■	
			基本的技術運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■									■	
		陸上	基礎、基本的な運動																■	■	■																	
			合理的な運動																■	■	■																	
		柔道	基礎、基本の特性運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■										
			相手との対応した動き							■	■	■	■									■			■	■	■	■										
		持久走	体力向上の運動																												■	■	■	■	■			
			精神力や忍耐力メントレ																												■	■	■	■	■			
		体育理論	合理的な運動を学習する									■															■								■			
			練習方法や必要な体力									■															■								■			
			生涯スポーツの意味									■																							■			

授業科目	地理Ａ				２０２１年度 地歴公民科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	第１部　現代世界の特色と諸地域の課題 　１章　旅からとらえる現代世界 　２章　世界の自然環境と文化 　３章　世界の諸地域の生活・文化 　４章　地球規模で広がる課題 第２部　身近な地域の課題 　１章　身近にあるさまざまな地図 　２章　日本の自然環境と防災 　３章　身近な地域の課題と地域調査				
到達目標	・世界の略地図を書く事ができる。 ・世界の主要な国，都市名，地形の位置関係と名称を地図上で表すことができる。 ・地形・気候・産業に関する系統地理の基礎的用語や考え方を理解し，説明できる。 ・世界の諸地域や諸国の産業や文化の特徴を説明することができる。 ・地図帳を利用し，地名や統計を調べる事ができる。 ・インターネット等で，地理に関する各種資料や統計を収集し，調査･分析できる。 ・文献・写真や統計を分析して，地理事象の背景を見出すことができる。 ・統計などの情報を，地図上に表現することができる。 ・地球規模の課題の背景を理解し，解決にむけた自分の意見をまとめることができる。				
評価方法	「知識・技能，（40%），「思考・判断・表現，（30%）については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については，提出物，小テスト，プレゼン発表，レポート等をもとに評価をする。（30%）				
使用教材	教科書：『高校生の地理 A』（帝国書院）／『新詳高等地図』（帝国書院） 副教材：『新詳地理資料 COMPLETE2021』（帝国書院）				

●授業進度表

					4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･ｺｰｽ	科目	単位	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 総合	地理A	2	現代世界の特色と諸地域の課題	旅からとらえる現代世界					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
				世界の自然環境と文化																																				
				世界の諸地域の生活･文化																																				
				地球規模で広がる課題																																				
			身近な地域の課題	身近にあるさまざまな地図																																				
				日本の自然環境と防災																																				
				身近な地域の課題と地域調査																																				

授業科目	芸術　美術Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	１学年	総合(選択)	単位数	２	
授業内容	・芸術鑑賞・美術基礎知識（色彩など） ・１年間を通してデッサン(絵画・立体表現分野) ・１学期　ポスター(デザイン分野）の制作 ・２学期　モダンアート画の制作 ・２学期　立体構成デザイン画の制作(デザイン・工芸分野) ・３学期　水彩画　花と風景の制作 ・３学期　色鉛筆画の制作 ・３学期　平面構成（デザイン分野）　　（その他の制作、状況に応じて変更あり）				
到達目標	・思いを込めた丁寧な制作態度を身に着け、作品への愛着を感じることができる。 ・美術の学習を通じて、表現する喜びや楽しさを経験する。 ・デッサンでは色々な描画材料を使い、物の正確な形、本質を追及する態度を身につける。 ・作品の制作を通じて、丁寧に制作された作品の価値を知る。 ・デザインの課題を通して、社会の中でデザインの在り方について考えを深める。 ・著作権法を知り著作物の保護について考える。 ・立体的なデザイン表現を知ると共に、構成力・造形力を養う。 ・創作活動を通して表現力を身につける。 ・社会の中にある色彩や表現を発見し、発展させる力を身につける。				
評価方法	［単位修得要件］ 課題に要求される習熟度、作品の完成度、授業態度、出席日数、学年末の学科試験を加味し、これらを「知識・技能」40%「主体性」30%「表現力・判断力・思考力」30%の観点別で評価する。				
使用教材	光村図書　高校美術１　資料・配布プリント　他				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］ 小・中学校で学んだ美術の基本的知識、技能。				

●授業進度表

学年・類	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 全コース	美術	美術知識	基礎知識		■																																		
			色相色彩学			■																																	
			美術史1・2				■																																
			絵画・デザイン分野				■																																
		デザイン	ポスターの知識					■																															
			ポスターデザイン					■																															
			ポスター下描き							■																													
			ポスター着色							■	■	■		■																									
		絵画とデザイン	色鉛筆画の練習																■																				
			モダンアート画構成																	■																			
			モダンアート画下描き																		■	■																	
			モダンアート画着色																			■			■	■	■	■											
		水彩画と平面構成	水彩画（花を描く）																												■	■							
			水彩画（風景を描く）																															■					
			平面構成																																■	■		■	

1学期中間試験　1学期期末試験　2学期中間試験　2学期期末試験　学年末試験

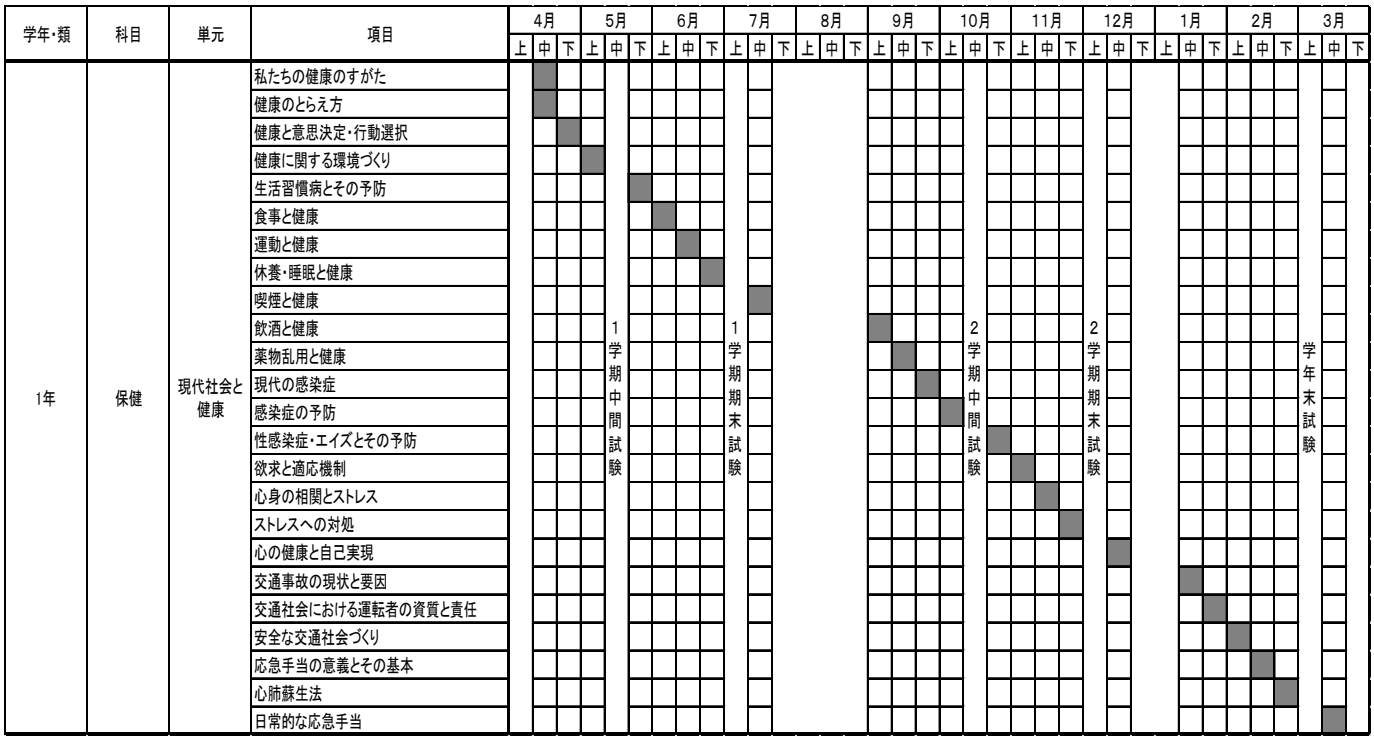
授業科目	物理基礎				２０２１年度 理科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	２	
授業内容	運動とエネルギー・熱・波・電気といった物理基礎の４分野の中から、運動とエネルギーおよび熱の分野を履修する。特に、運動とエネルギーについては他の分野の基礎となるので、時間をかけて重点的に授業を進める。 1　運動とエネルギー ・物体の運動を表す量としての変位、速度、加速度の理解を、ベクトルの理解と合わせて深める。 ・静力学の根幹である作用反作用の力とつり合いの力の違いを明確にし、動力学の理解につなげる。 ・運動方程式を理解することで力に関係する事象を解析する力を養う。 ・仕事とエネルギーの関係を通して、エネルギーが広い意味で保存量であることに気づかせ、次の熱分野につなげる。 ２　熱 ・温度と熱の関係から入って、熱力学の第一法則を通して熱と仕事の関係を理解し、エネルギー収支の視点で自然界を分析できるようにする。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・自然界で生起する様々な力学現象の中から単純化させたものを取り上げ、運動の記述方法について学び、解析力をつけること。 ・力学的エネルギーや熱エネルギーを通してマクロおよびミクロ的な視点から自然現象について考察できる力をつけること。 ・力学や熱学を通して物理学が社会の発展に果たしてきた役割に気づくこと。 ・習った分野ではセンター試験レベルの問題を解く力を身につけること。				
評価方法	知識・技能（30）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（35）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（35）…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書：物理基礎（数研出版） 副教材：フォローアップドリル物理基礎（数研出版） □運動の表し方・力・運動方程式　□仕事とエネルギー・熱　□波・電気				

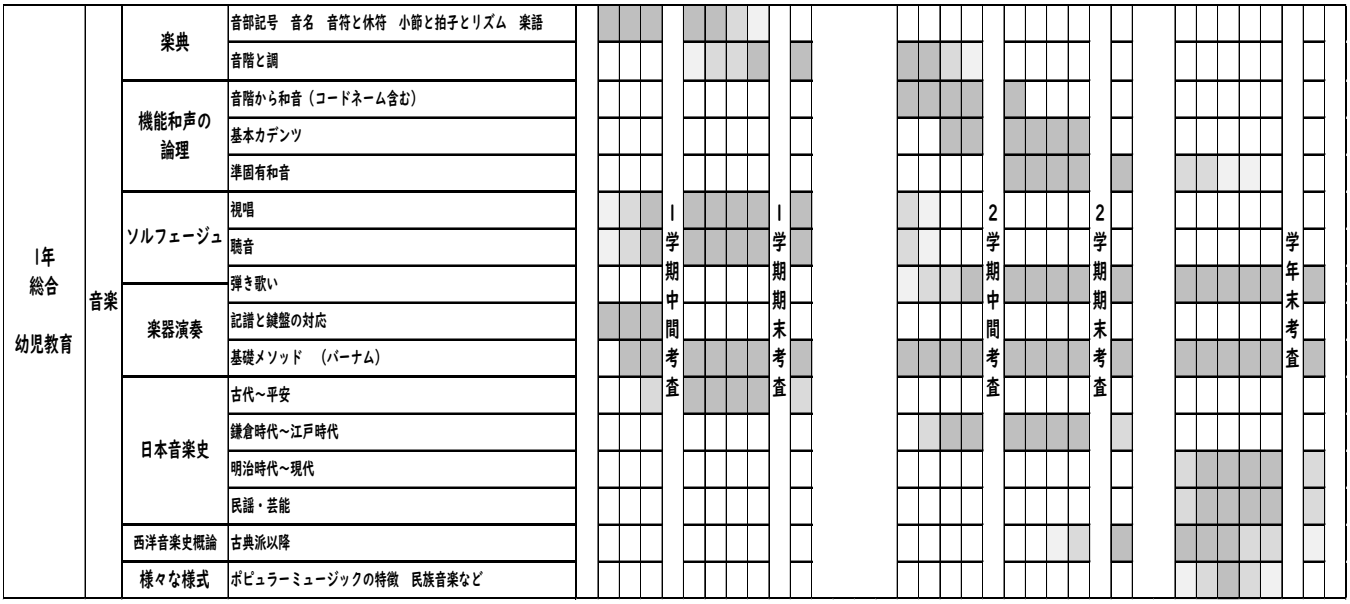
●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 総合 コース	物理基礎	運動とエネルギー	運動の表し方		■	■	■	1学期中間試験	■	■	■	■	1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			運動の法則											■					■	■	■	■		■	■														
			仕事と力学的エネルギー																							■	■		■			■	■						
		熱	熱とエネルギー																															■	■	■			

授業科目	保健				２０２１年度 体育科シラバス
学年・コース	１学年	総合	単位数	１	
授業内容	１学期　　現代社会と健康（私たちの健康のすがた～喫煙と健康） ２学期　　現代社会と健康（飲酒と健康～心の健康と自己実現） ３学期　　現代社会と健康（交通事故の現状と要因～日常的な応急手当） クラス単位の講義形式。 動画視聴や実技、グループ学習、調べ学習なども行う。 「生活習慣」『ストレス』など現代社会を特徴づけるこれらの言葉が示唆するように、私たちの周囲には健康を脅かす数多くの危険因子がある。それらについての知識を深め心身ともに健康的な生活を送るためにどうすればよいかを学ぶ。				
到達目標	現代から将来にわたっての、健康的な生活とは何かを考え、心身の健康の価値を日常生活の中で確認し、自ら進んで行動できるようにする。				
評価方法	知識・技能　　思考・判断・表現　　主体的に取り組む態度				
使用教材	教科書「保健体育」（大修館） ノート「現代保健ノート」（大修館）				
その他	必履修科目				

●授業進度表



授業科目	芸術　音楽Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	１学年	総合（選択） 幼児教育	単位数	２	
授業内容	音楽理論と音楽史の学習及び視唱と鍵盤楽器の演奏練習を通して、音楽的感性を深め、演奏の基本手法を実習すると共に、弾き歌いの技術を用いて主体的かつ創造的な芸術的表現を試みる。 1 学期　基礎楽典と調性　視唱・聴音　基本奏法の練習 2 学期　コードネームとカデンツ 3 学期　準固有和音 ただし、弾き歌いと日本音楽史・西洋音楽史については年間を通して適宜行う。				
到達目標	○基本的な楽典および機能和声の論理とコードネーム表記の理解 ○鍵盤楽器演奏に関する基礎的知識および技術の理解 ○様々な様式と歴史の理解 ○視唱・聴音能力の伸長 ○簡単な弾き歌いの技術の習得				
評価方法	［単位修得要件］　出席日数、授業参加練習態度、持ち物（楽譜など）、学期ごとの学科（筆記）試験、演奏試験。以上を加味しながらこれらを「知識・技能」40%「主体性」30%「表現力・判断力・思考力」30%の観点別で評価を決定する。				
使用教材	教育芸術社　ＭＯＵＳＡ　Ⅰ　，　全音楽譜出版社　「バーナム ピアノ テクニック」 鈴鹿高等学校芸術科音楽編「幼児教育コース　実習課題曲集」　資料プリント等				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］　小・中学校で培われた音楽的演奏能力および音楽的知識一般。ただし鍵盤楽器演奏の基本能力は特に問わない。 ［注意事項］　この授業は将来的に幼児教育を専門としたいと考えている生徒を対象として編成している。指定された課題を丁寧に練習していくことにより、最終的には鍵盤楽器等演奏表現の可能性を実体験し主体的に追求して欲しい。基礎的理論の学習は、将来的な演奏を補助する意味で重要である事を理解して行うこと。また、練習の時間は真摯に稽古に取り組むことを強く求める。				

●授業進度表